

よこた やすひろ
横田泰洋

こひつじ会グループ
経営企画室管理部門
部長代理

職員の働きやすさの追求が 患者・利用者の満足につながる

バックオフィス部門の管理が仕事

小学6年生のときに、祖父をがんて亡くした横田泰洋さん。病院という閉鎖的な空間で亡くなったことに対し、「本当に良かったのだろうか」と疑問を感じたのが、医療・介護業界を志すきっかけだったと話します。

現在は、病院や診療所、特別養護老人ホームなど複数の医療・介護サービスを手がけるこひつじ会グループ経営企画室で、人事や総務、労務などのバックオフィス部門を管理する仕事を担っています。

生産性の向上をめざす

横田さんが入職した2010年のスタッフ数は約400

人でしたが、現在は約1200人に急増。「職員にとって働きやすい環境をつくるのが、その先にいる患者さんや利用者さんのためになると考えています」と強調します。たとえば、職員がワークライフバランスを実現できるように取り入れた福利厚生サービスについては当初、導入に反対する声もありましたが、今では職員の利用率が高く手応えを感じているそうです。

医療・介護業界の人手不足の解消には、生産性の向上が必要と考えています。そのためにもマネジメントを学ぶ必要性を感じ、一般社団法人日本医療経営実践協会が認定する医療経営士1級に挑戦し同資格を取得しました。今後も向上心を持って仕事に取り組んでいくつもりです。

よこた・やすひろ ● 1982年生まれ。2005年、法政大学工学部卒業。NECソフト株式会社、株式会社インテリジェンスを経て、10年にこひつじ会グループ(本部:東京都墨田区)に入職。医療経営士1級。